

鹿屋 地上デジタル放送中継局 開局目前イベントが開催



7月2日から6日まで、リナシティかのやの情報プラザで、地上デジタル放送中継局開局目前イベントが開催されました。

これは、10月から鹿屋地区で地上デジタル放送が開始されるに伴い、デジタル放送への理解と普及促進のキャンペーンの一環として行われたもの。初日の2日には、地上デジタル推進大使を務めるKTS、KKB、KYT各局の女性アナウンサーによるトークショーが行われ、集まった観客は普段身近で見る機会の少ない推進大使の話しに聞き入っていました。

串良 今年も串良にやってきた アオバズク



串良総合支所前のクロガネモチの木に、4年連続でアオバズクが飛来しました。

アオバズクは、フクロウ科の渡り鳥で、体長は30cm程。茶色い頭と、かわいらしい丸い目が特徴です。また、日没後には「ホッポー、ホッポー」と二声ずつ繰り返して鳴く声は印象的で、いつまでも記憶に残ります。

現在、5月下旬に飛来した2羽のアオバズクは、卵を交代で温めており、7月中旬ごろには、アオバズクの親子が仲良く肩を並べている姿を見ることができるとも知れません。

全国放送で鹿屋をPR



会場は、終始笑いの渦に包まれました。



アンカーを務めた遠藤ふき子アナウンサーと松本一路アナウンサー



講演した児玉光雄
鹿屋体育大学教授

6月24日、市民交流センターホールで、NHKラジオの全国放送の人気番組「ラジオ深夜便のつどい」の公開収録が行われました。

これは、鹿屋市市民交流センターのオープン記念イベントの一つで行われたもの。当日は、鹿屋体育大学教授の児玉光雄氏の講演や、NHKの現役アナウンサーの遠藤ふき子氏と松本一路氏の仕事秘話や面白話などが披露され、県内外から訪れた約350人の観客が楽しいひとときを過ごしました。

なお、同番組は、次の日程で放送されます。

8月24日(金) 午後11時20分～翌朝5時

FM放送では、8月25日(土) 午前1時～午前5時



鹿屋の情報が全国に発信されます。

鹿屋 土と水の恵みを 肌で感じるドロコ祭り



6月19日、古前城町の鹿屋農業高等学校実習用水田で、第5回ドロコ祭りが開催されました。

これは、土と水の恵みに感謝しようと毎年行われているもので、開催以来3年生の就職率は100%と縁起のいい行事でもあります。

当日は、全身を泥だらけにしなが、生徒と教師が一緒になって、リレーや徒競走、サッカーなどの競技を楽しんでいました。

串良 おおが 大賀ハスが開花



串良の夏の風物詩として有名な大賀ハスが、今年も串良公民館前の堀に淡紅色の花を咲かせ、訪れた人の目を楽しませました。

大賀ハスは、昭和26年に植物学者の大賀一郎氏が千葉県の検見川遺跡から約2000年前の古代ハスの種を発見し、開花に成功した花。同堀の大賀ハスは、この時期になると、直径20cm程の大きく美しい花を咲かせています。

鹿屋 約22トンのごみを集める



7月1日、鹿屋地区の43町内会と5団体が参加して、町内会の一斉清掃や海岸清掃を行いました。

これは、鹿屋市衛生自治団体連合会が中心になり、自分たちの住んでいる地域を快適な生活環境にしようと行われたもの。当日は、2時間程かけて道路に捨てられた空き缶などや海岸に漂着したプラスチックごみなど、約22トンのごみを収集し、きれいになりました。

吾平 始良川を清掃



6月10日、始良川河川敷で「育てようボランティア精神 守ろう私たちの川」をスローガンに第20回クリーン作戦が行われました。

当日は、地域住民など20団体から約400人が参加。約1時間かけて堤防や川の中に捨てられた空き缶やごみなどを収集しました。今年は、地域内に河川愛護の意識が高まってきており、昨年よりもごみの量が減っていました。

串良 ハンセン病への 正しい理解を訴える



6月28日、串良公民館で「ハンセン病問題に関する啓発講演会」が開催され、約300人が参加しました。

講演会では、星塚敬愛園の有川勲園長が「ハンセン病についての五つの誤解」と題して講演。また、同園自治会の上野正子氏が「偏見・差別のない社会を願って」と題した講演で、収容されてから今日までの自らの体験をもとに、ハンセン病への正しい理解を訴えました。

鹿屋 全長3mの ロールケーキが登場



6月15日～17日、リナシティかのやに出店している「ボンヴィヴォン リナランチ」でオープニングフェアが開催されました。

これは、中心市街地に元気を与えられたらと行われたもので、初日の15日には全長3mのロールケーキ(150食分)が登場。切り分けられたロールケーキは、買い物客や市民講座の受講生などに無料で振舞われました。